ユネスコスクール（ASPnet）

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：２０１２年４月～２０１３年３月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、ＨＰ等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

１．学校概要

学校名　岡崎市立梅園小学校

種別　□保育園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□高等学校　□中等高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□その他（　　）

住所　〒４４４　－００７１
岡崎市稲熊町字４丁目６８番地１

E-mail：umezono@st.oklab.ed.jp

Website：http://www.oklab.ed.jp

児童生徒数：男子３９２名　女子３４５名　合計７３７名
児童・生徒の年齢　６歳～１２歳

２．担当者

３．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
□　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
□　食育
□　伝統文化
□　そのほか（　　）

４．活動概要

１年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

１．ねらい

持続可能な社会の担い手として「グローカル」（地球規模で考え、地域に働きかける）な視点に立った活動を通して、ESD の意識が高まることを願っている。

【目指す子ども像】　人と環境のかかわりについて正しく認識し、責任ある行動で、持続可能な社会づくりに主体的に参画する子ども

【本校の目指す環境教育】　地域の実態、子どもの実情に合わせた「梅園環境学習プログラム」を実施し、地域を教材にした単元構想で実践したり、学区クリーン作戦を学区の方と行ったりするなど、環境活動を継続実践する。

２．実践内容

（１）「梅園小学校環境プログラム」

子供や地域の実態を考慮して、年度当初に学年ごとに環境学習プログラムを作成し、実践している。プログラムは、反省や子供や地域の実態を生かし、随時修正。

（２）梅園クリーン作戦

６月と１０月の年２回、全校児童と学区の方で学区清掃活動「梅園クリーン作戦」に取り組んでいる。平成３年より実施。「伊賀川をきれいにしたい」という、当時の子供たちの思いがきっかけである。現在は、全校児童約７３０名が総代会や学区女性の会の方々とともに、学区内各所のごみ拾いや草取りなどを行っている。

（３）梅小環境サミット

環境学習への意識が高まり、平成２２年度より「梅小環境サミット」を開催。学校評議員、児童、教員が集い「住みよい梅園学区」をめざし話し合い、具体的な活動に発展させている。例えば「昔の伊賀川にはホタルがたくさん舞っていたよ」という話が、５年生の「伊賀川にホタルを復活させるプロジェクト」のきっかけともなった。

（４）学びを発信する「絵本作り」と「梅っ子タイム発表会」

これまで三か年にわたる取り組みを絵本にして発信する活動中。また、２月の「梅っ子タイム発表会」でも、全校児童や保護者、学区の方々に向けて継続発表している。

３．成果と課題

今後は、各教科学習の中でもさらに ESD の視点を組み込み、意識の高まりと働きかける姿を期待したい。また、自信をもってこれまでの学びを発信する姿を期待する。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

□　時間外活動の時間を使用　　□　ユネスコクラブの活動として実施

□　その他（　　）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

□　紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）　□　CD-ROM　　写真

□　その他（　　）